

# 公式記録

(社)兵庫県サッカー協会  
兵庫県高体連サッカー部

## 平成22年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会

準決勝 【 38 】

主審 署名	森内 和也
----------	-------

日時	2010年11月3日(水) 13:05 キックオフ				会場	アスパ五色 メイングラウンド				
天候	晴れ	風	微風	ピッチ	天然芝・人工芝・クレー	状態	良好	試合形式	80分 / 延長 20分 / PK戦有	
マッチリポーター	辺見 康裕		会場主任	堀口 泰司		記録	田坂 昌彦 / 田村 孝次		観衆	500人
主審	森内 和也		副審1	鶴野 敬二郎		副審2	前田 晃男		第4の審判員	鈴木 義章

チーム名	報徳学園高校				kick off	1	前半	0	後半	0	延前		延後		PK戦		チーム名	市立西宮高校			
					選手番号	P									PK戦						
					○×先	K									戦						

交代 No.	シュート				選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート				交代 No.
	延後	延前	後半	前半							前半	後半	延前	延後	
					田島 昇太 3年	1	GK	GK	1	神部 公佑 3年					分
					水野 有 3年	2	DF	DF	3	庄野 大貴 3年		1			分
				1	吉川 拓穂 3年	4	DF	DF	4	中村 嘉文 3年					分
					茨木 凌 2年	14	DF	DF	5	帷 智行 2年		1			分
					村上 郡真 2年	16	DF	DF	6	指田 真宏 2年					分
					松本 彰 3年	6	MF	MF	13	大道 壮毅 1年					HT 分
					野尻 志遠 2年	19	MF	MF	7	難波 祐輔 2年		1			分
				1	桜本 陸 3年	9	MF	MF	8	前野 俊哉 2年		1			分
64				1	富士野 恭祐 2年	15	MF	MF	9	新井 友博 2年		2			分
					奥村 慶之 3年	7	FW	FW	10	岡田 卓也 3年					分
					福本 侑大 3年	11	FW	FW	11	後藤 寛太 2年		2			分
					上野山 裕己 3年	12	GK	GK	12	中野 啄治 2年					分
					濱 晃大 3年	5	DF	MF	2	山口 駿太郎 2年					分
					小西 祐樹 2年	3	DF	MF	14	岡田 大知 1年					分
					藤堂 啓太 1年	25	DF	FW	15	池上 泰平 2年					分 13
					前田 恵汰 2年	17	MF	DF	16	木村 浩章 2年					分
					竹中 偉吹 1年	24	MF	DF	17	伊藤 駿介 2年					分
					小池 実喜彦 3年	8	MF	FW	18	秋山 諒太 1年					分
					岡田 貴信 3年	13	FW	FW	19	平岡 瑞穂 1年					分
15					磯岡 優斗 2年	10	FW	FW	23	北川 瑛久 2年					分

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					15			7	8	シュート	0	8			8	55分	警告	4	中村 嘉文	反ス
分					7			4	3	GK	5	4			9	分				
分					5			3	2	CK	2	2			4	分				
分					13			6	7	直接FK	6	5			11	分				
分					0			0	0	間接FK	3	0			3	分				
分					0			0	0	PK	0	0			0	分				

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過] 略号例:ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS
	31分	報徳	11	福本	1-0	右 CK ⑦ ○ 中央 × ⑩ S
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	

戦評者 所属【 県芦屋・小野 】 氏名【 井上・笠原 】

阪神地区同士の対決となった準決勝は、ともに攻撃力のあるチームの戦いとなった。GK①田島・DF④吉川を中心に⑦奥村・⑩福本の攻撃力を生かす報徳に対し、市西宮はポランチ⑦難波を起点に両サイドを使った攻めで⑩岡田・⑩後藤へボールを送りチャンスを作る。一進一退の前半、ペースを握りかけた報徳が31分CKからの混戦を⑩福本が押し込み先制点を挙げた。

後半、市西宮FW⑩池上を投入⑩後藤を左サイドにおいて、立ち上がりからペースをつかもうとする。後半2分⑩新井のミドルシュートがポストをたたかもゴールならず。その後も⑩後藤が報徳DFラインの背後へ飛び出し、何度もチャンスを作るが得点を奪えない。報徳は、押し込まれながらも時折鋭いカウンターを仕掛けるが、市西宮のCB③庄野④中村が追加点を許さない。見応えのある両チームの攻防は、1-0で報徳が逃げ切り決勝へ駒を進めた。

[備考]